

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。梅雨が明け、30℃を超える日が続く今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、7月20日に東京・両国国技館で行われた、プロボクシング54.4キロ契約ノンタイトル戦で、ボクシング転向後4連勝を飾った、那須川天心選手（帝拳ジム所属）に注目しました。那須川選手といえば、元キックボクサー。

超RIZINで武尊選手とのスーパーマッチをKOで勝利を収め、ボクシングへ転向したのは記憶に新

しいかと思えます。言わずと知れた格闘家で、ボクシングに転向してからは、ダウンを取る事の期待になかなか応えられずに苦しんでいました。今回、4戦目にして世界ランク4位のジョナサン・ロドリゲス（米国）をマットに沈め、3回TKOで勝利しました。試合後のインタビューでは、『今回倒しきることができて少しは成長をしたところをお見せできたのではと思います。でもまだこんなもんじゃないという思いもあります』と先を見据えたコメントをしていました。常に今のその先を見据え行動していくという心構えに脱帽しました。私も常に前を見据え、チャレンジ精神を持ち続け、日々精進してまいる所存でございます。

暑い日が続く今日この頃ですが、皆様くれぐれもご自愛ください。

## サンライズの物語

認知症という病気——  
専門家として目指す姿を明確に

弊社は毎週事業所会議を開催して各自のケアプラン点検や社会資源について議長と書記を持ち回りで開催しております。

その一人のケアマネが発表した認知症に関する和田氏の詩に感銘を受けました。

介護業界の方々のご存じだと思いますが 和田 行男氏著「大逆転の痴呆ケア：まだ見ぬ介護者へ」中央法規出版より引用 ご紹介致します。

私はすべてを失ったわけではありません  
どんなことでも まず問いかけてみてください  
何でも まず私の意思を確認してみてください  
食べる 食べない 行く 行かない 暑い 暑くない？  
どうしたのって 聞いてみてください  
訳のわからないことを言うかもしれません  
私は認知症です  
察してください ようくみてください  
私はすべてを失ったわけではありません  
まだまだ若いものに負けないこともたくさんあります  
あると思います

でも 若い頃と同じようにはできないでしょう  
あせらせないでじっと見ていてください  
見ていて少しだけ手を貸してください  
人間の機能や能力は使わないと使えなくなると  
若い頃に聞きました

生きるためにたたかう力はまだまだ・・・  
私はすべてを失ったわけではありません  
外だって自由に出たがるでしょう 雲や星が好きです  
外に自由に出られるようにしてくれさえすれば  
自分でかけます  
でもきっと目的地には着けないでしょう  
戻れなくなるでしょう



そっとついてきてくれると嬉しいです  
とまどったり 不安げになったら そっと傍に来て  
どうしたのって声をかけてください  
きっとあなたが天使様に見えるでしょう  
私のことを笑ってくれていいですよ  
きっとおかしいことを言ったり  
おかしい恰好をすることでしょ  
でもお願いします 陰で笑ったり 自分一人だけで 仲間  
同士だけで笑わないで  
私にも笑っている訳を教えてください  
きっと私も笑いの仲間に入り  
いっしょにおかしむでしょう  
だって おかしいことはおかしいと 私にもわかるから  
私はすべてを失ったわけではありません  
認知症の和田さんになったのではなく  
和田さんに認知症がくっついただけなんです  
私のことをわがままな言わないでください  
私はあなたと同じ人間です  
ただ 認知症という難しい状態になっただけです

私の努力では 止められないんです  
この詩を聞いた時に私を含め他のケアマネ達も涙が止まらなくなりました。  
社会福祉法、介護保険法には「有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるようにする・・・」と理念で定めています。和田氏曰く「してあげる。させていただく」ではなく有する能力に（見極め・アセスメント）に応じて行うことであり専門家として目指す姿を明確にしていると説明されております。  
認知症のご家族を介護されている方々の思いに添った介護職でありたいと考えます。

# サンライズのデイサービス陽光だより



## お誕生日

皆さんでお誕生日の歌を歌って誕生日カードをプレゼントさせていただきました。  
おやつに手作りパンケーキをお出ししました。



## カレンダー製作

折り紙でハッピーと提灯を作り画用紙に飾り付けて作りました。



## NEWS 今月のニュース

### 介護予防事業でスポーツ庁長官賞

#### 熊本市のJ・H・ウェルネス ロアッソ連携の運動プログラム【Bスタ発】

健康コンサルティング業のJ・H・ウェルネス（熊本市、野々下直子代表）が展開する高齢者介護予防事業が、運動を通じた健康づくりを進める企業や団体を顕彰する「スポーツ振興賞」で、大賞に次ぐスポーツ庁長官賞を受賞した。熊本県関係の受賞は初めて。独自の運動プログラムの開発や実践、効果測定を一体化した内容が評価された。

ウェルネス社はサッカーJ2ロアッソ熊本と連携し、プロのトレーニングを取り入れた運動プログラムを理学療法士ら専門家と開発。現在は熊本市の委託事業として、ロアッソの運営会社アスリートクラブ熊本や熊本日日新聞社などと「ロアッソウェルネスプログラム」を運営している。

介護予防を目的とした運動プログラムで、歩行能力測定を受ける参加者（左）＝17日、熊本市中央区

昨年度は、65歳以上の市民約500人がプログラムに参加。本年度は対象年齢を50歳以上に引き下げ、市内8会場で開いている。

地域のサッカークラブとの連携や効果測定の取り組みに加え、こうした事業への参加が少なかった男性の関心を引き付けて割合を増やした実績が受賞につながった。野々下代表は「県全域の事業として広げ、医療費や介護費の削減につなげたい」と話している。

スポーツ振興賞は、公益社団法人「スポーツ健康産業団体連合会」（東京）と一般社団法人「日本スポーツツーリズム推進機構」（同）が共催。12回目の本年度は全国から

35件の応募があった。（濱田耕一郎）



<熊本日日新聞 2024年7月22日>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>